

令和7年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) 神和認定こども園

観点	①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育
項目	内 容
園の現状や取組、課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達段階に合わせて子ども達が主体的に遊ぶことができる環境を作ることで、子ども達が安心して、自分で好きな遊びを選び、のびのびと過ごしている。</li> <li>・ 0.1.2歳児クラスは、育児担当制を通して担当の保育者に子どもが自分の思いをしっかりと表現し、受け止めてもらっている。引き続き、職員間の育児担当制の共通理解と、発達に応じた環境構成を深めていきたい。</li> <li>・ 3.4.5歳児クラスは、子どもが主体的に活動し、集団の中で自分の考えを伝えて自己を発揮しながら友達との関わりを広げている。相手の話を聞くこと、自分とは違う考えを受け入れること、相手を思いやる気持ちを、遊びを通してさらに深めていきたい。</li> </ul>
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども一人一人に応答的、対話的に関わり、丁寧で温かなまなざしをもつ</li> <li>○ 豊かな遊びと体験を保障し、子どもも保育者もワクワクする保育を楽しむ</li> </ul>
目標達成に向けた具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども達が好きな遊びを満足するまで遊べるように十分な時間を保障する。</li> <li>・ 遊びの振り返りの時間を作り、子ども達が遊びの様子を伝えたり、困った事や、次にどんなふうに進んでいくかをみんなで考え共有し、試行錯誤しながら友達と一緒に協力したり問題解決したりする経験ができるよう支える。</li> <li>・ 遊びを通して、子どもが感じた「やってみたい」「不思議だな」「おもしろいな」「知りたいな」という意欲や興味関心をよく観察し、夢中になれる環境を整える。</li> <li>・ 0.1.2歳児クラス担任の「にこにこ会議」を通して、子どもの様子や育ちについて語り合い、発達と興味に合わせた環境構成を考え工夫し再構築する。また、育児担当制の流れについて職員間で共通理解する。</li> <li>・ 3.4.5歳児クラス担任の「キラキラ会議」と年齢ごとの「学年会議」を通して、保育を振り返り、子どもの育ちを支える環境作りや、保育者の関わり方について見直す。</li> <li>・ 1月に三木市保育者実践交流研修会として公開保育(0.1.2歳児クラス対象)を行い、個々の発達に応じた環境や支援について情報交換をして学びを深める。</li> </ul>
成果	<p>0.1.2歳児クラスでは、職員間で子どもの様子や育ちを語り合い、悩みを共有し、発達に合った環境作りを再構成し、子どもへの関わり方を工夫することで、子ども理解を深めることにつながっている。</p> <p>園内で公開保育を行い、担任以外の保育者が育児担当制の様子を見て、感想や質問をあげて学びあい、職員間の共通理解を深めることができた。また、1月の『三木市保育者実践交流研修会』で、0.1.2歳児クラスの公開保育を行い、市内の他園の保育者との研修の場をもった。発達に応じた環境や子どもの気持ちを丁寧に受け止めることの大切さ等について評価と助言をいただき、学びの機会となった。</p> <p>3.4.5歳児クラスでは、子ども達の「やってみたい」という声を保育者が受け止め、興味関心に沿った環境構成を行い、十分な時間を保障したことで、子ども達が主体的に遊びを考え、友達と一緒にぶつかり合いながらも試行錯誤して遊びを深める様子が見られる。また、保育者から「子どもたちがもっとワクワクする遊びを計画しよう」という提案があり、会議でも活発に意見交換し、学年ごとにじっくりと遊んだ経験を活かして、3.4.5歳児が混ざりあって各保育室や園庭を行き来しながら、自分の好きな遊びを選んで夢中になって遊ぶ時間を保障する「キラキラタイム」を活動に取り入れ、保育者一人一人が楽しみながら主体的な保育を実践している。</p>
評価	<p>基本的に子どもたちの「やってみたい」を実現するように保育が進められており、そこから自信をもって生活できるようになっている。子どもたち同士で相談したり、グループで協力したりすることが定着しているので、協働的な学びが進められるような力がついているといえる。乳児クラスでも、環境がよく整えられ、子どもたちの遊びたい意欲を引き出しながら、満足するまで遊べるようにしているため、安定して過ごすことができていると感じられる。保育者間の話し合いが活発に行われており、連携をとりながら一人一人が主体的に保育を行っていることが評価できる。今後も積極的に保育の可能性について探っていただきたい。</p>